

授業科目	母性看護学特論 Advanced Maternal-Infant Nursing		1・2 学年	前期	選択	30 時間	2 単位
担当教員	【氏名】 ◎ 常盤洋子	【所属】 新潟県立看護大学	【氏名】	【所属】			
【到達目標】 母性看護学の基盤となる理論について理解する。							
【授業概要】 母性看護学の基盤理論を訳本と原著を比較しながら読み込むことで、理論の本質を把握できる内容で構成している。							
【授業計画】							
回数	授業形態	学習課題	学習内容			備考	
1	講義	オリエンテーション	学習の進め方、使用理論の検討、書籍の紹介			常盤	
2-5	講義・ プレゼン テーション 討議	母親になること、母親役割の獲得過程の理解	母性意識・父性意識の概念、親になるプロセスと親役割理論、母親役割獲得に関する理論と臨床活用			常盤	
6-9	講義・ プレゼン テーション 討議	アタッチメント理論、母子関係理論の理解	愛着理論の概要とサークル・オブ・セキュリティー理論、母子関係理論と臨床活用			常盤	
10-13	講義・ プレゼン テーション 討議	Transition theory、アイデンティティ発達理論の理解	Transition theory、アイデンティティ発達理論と臨床活用			常盤	
14-15	講義・ プレゼン テーション 討議	理論の本質と意義	母性看護で用いられる理論の価値			常盤	
【評価方法、評価基準】 プレゼンテーション 50%、授業における討議等の取り組み 50%で評価する。							
【テキスト】 使用する理論に関する図書とする。							

【参考書・資料等】

ルヴァ・ルービン、新藤幸恵訳『母性論 母性の主観的体験』医学書院

ボウルビィ、二木武監訳『母と子のアタッチメント 心の安全基地』医歯薬出版

数井みゆき(編)『アタッチメントの実践と応用 医療・福祉・教育・司法現場からの報告』誠信書房

Reva Rubin, Maternal Identity and the Maternal Experience, Springer Pub Co.

John Bowlby, A Secure Base, Routledge.

M. H. Klaus, J. H. Kennell, P. H. Klaus, Bonding, Wesley Publishing Company.

Afaf Ibtahim Meleis, Transitions Theory, Springer Publishing Company.

【受講、課題、資料配布等のルール】

メインとしてとりあげる理論は、ルービン、ボウルビィ、クラウス&ケネルとするが、受講生の興味関心によって、とりあげる理論は相談に応じる。できるだけ、翻訳本だけではなく原著が入手できるものとする。

【教員からのメッセージ】

母性看護に関する理論をより深く理解するための科目です。理論を読み解くには時間がかかりますが、一つひとつの語句や文章を丁寧に読むことで、理論の本質把握を試みます。

【オフィスアワー】

事前にメール等で調整してください。

授業科目	母性看護学援助論 I Advanced Nursing Maternal-Infant I	1・2 学年	通年	選択	30 時間	2 単位
担当教員	【氏名】 ◎ 常盤洋子	【所属】 新潟県立看護大学	【氏名】 西川美樹	【所属】 新潟県立看護大学		
【到達目標】 母性看護実践に関連する概念の理解を深め、周産期にある女性とその家族への看護を多角的に検討できる。						
【授業概要】 講義，文献学習，グループ討議，プレゼンテーション等を通して，母性看護の実践者としての基盤形成につながる内容で構成している。						
【授業計画】						
回数	授業形態	学習課題	学習内容	備考		
1	講義	オリエンテーション	学習の進め方	常盤 西川		
2-4	講義・演習	リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念理解、性と生殖に関わるメンタルヘルスケア	リプロダクティブ・ヘルス/ライツの定義/概念、国際比較、現状と課題、アプローチ法、ドメスティックバイオレンスにおける健康問題とケアシステム	常盤 西川		
5-7	講義・演習	周産期にある女性を取り巻く家族の理解と看護	現代家族の現況と課題、家族看護の理論、事例検討	常盤 西川		
8-10	講義・演習	母性看護における倫理的課題の理解	看護実践における倫理原則と倫理的意思決定モデルと先行研究や実在事例を用いた検討	常盤 西川		
11-13	講義・演習	マザーリングの関係性の理解	マザーリング概念、マザーリングの実践への応用	西川 常盤		
14-15	講義・演習	まとめ	母性看護実践に関連する理論の活用	常盤 西川		
【評価方法、評価基準】 発表資料と内容 50%，プレゼンテーション 50%で評価する。						
【テキスト】 必要があれば、適宜紹介します。						
【参考書・資料等】 鈴木和子・渡辺裕子『家族看護学 理論と実践』日本看護協会出版会 M・マクゴールドリック他、石川元訳『ジェノグラム（家系図）の臨床』ミネルヴァ書房						
【受講、課題、資料配布等のルール】 プレゼンテーション資料は授業までに目を通しておけるように事前配布してください。						
【教員からのメッセージ】 母性看護を深く掘り下げる視点を学修する科目ですので、問題意識をもって取り組むことを期待します。						
【オフィスアワー】 事前にメール等で調整してください。						

授業科目	母性看護学援助論Ⅱ Advanced Nursing Maternal-InfantⅡ	1・2 学年	通年	選択	30 時間	2 単位
担当教員	【氏名】 ◎ 常盤洋子	【所属】 新潟県立看護大学	【氏名】 西川美樹	【所属】 新潟県立看護大学		
【到達目標】 現代社会における母性看護学研究の全体像が把握でき、自己の研究テーマが明確になる。						
【授業概要】 講義，先行研究論文，グループ討議，プレゼンテーションを通して、母性看護学研究の概観を把握することによって、自己の研究課題や目標を明確にしていく内容で構成している。						
【授業計画】						
回数	授業形態	学習課題	学習内容		備考	
1	講義	オリエンテーション	学習の進め方		常盤 西川	
2-6	プレゼン テーション 討議	母性看護学研究の動向の把握	国内外の文献検索、文献レビュー		常盤 西川	
6-10	プレゼン テーション 討議	母性看護学研究の課題の把握	文献クリティーク		常盤 西川	
11-12	プレゼン テーション・ 討議	母性看護学の発展に寄与する 研究方法の検討	母性看護学と研究方法		常盤 西川	
13-15	プレゼン テーション 討議	自己の研究テーマの明確化	自己の研究テーマと計画についての 方向性の発表		常盤 西川	
【評価方法、評価基準】 プレゼンテーション資料の内容 50%，プレゼンテーションと質疑応答 50%で評価する。						
【テキスト】 必要があれば、適宜紹介します。						
【参考書・資料等】 必要があれば、適宜紹介します。						
【受講、課題、資料配布等のルール】 プレゼンテーション資料は授業前に事前配布してください。配布時期は教員と相談のこと。						
【教員からのメッセージ】 本科目は自身の研究テーマの明確化をめざしていますので、それを念頭におき、学習を深化させてください。						
【オフィスアワー】 事前にメール等で調整してください。						

授業科目	母性看護学特別演習 Seminar of Maternal-Infant Nursing		1・2 学年	後期	選択	30 時間	2 単位
担当教員	【氏名】 ◎ 常盤洋子	【所属】 新潟県立看護大学	【氏名】 西川美樹	【所属】 新潟県立看護大学			
【到達目標】 母性看護における課題を抽出し文献検索、クリティークを実施する。さらに自己の研究にむけ、一連のステップを踏み研究計画書を作成できる。 1) 自己の研究課題，課題の明確にする。 2) 母性看護領域の研究成果のクリティークを行い自己の課題へと応用、深化させる。 3) 自己の研究課題やその課題の明確化から，研究計画を立案する。							
【授業概要】 母性看護学における課題を抽出し文献検索，クリティークを実施する。さらに、多角的な視点から文献や事例を分析することを通して、研究の一連のステップを踏み研究計画書を完成する。							
【授業計画】							
回数	授業形態	学習課題	学習内容		備考		
1-2	講義・討議	オリエンテーション 研究課題の明確化	学習の進め方、研究課題の決定		常盤 西川		
3-10	プレゼン テーション・ 討議	研究計画書作成	研究の課題の妥当性、概念図の作成、 リサーチミーティング		常盤 西川		
11-12	演習	研究フィールド開拓	フィールドワーク 関連学会参加		常盤 西川		
13-14	プレゼン テーション・ 討議・演習	研究計画書の再考、研究倫理 の検討	計画書の修正と完成・倫理審査・承 認に向けて準備と資料の作成		常盤 西川		
15	演習	研究計画書の修正と完成	研究計画書審査後の修正と提出		常盤 西川		
【評価方法、評価基準】 プレゼンテーション 20%と計画書・倫理審査書の完成 80%で評価する。							
【テキスト】 適宜紹介します。							
【参考書・資料等】 各テーマに沿って文献を収集する。							
【受講、課題、資料配布等のルール】 資料は講義前に配布してください。							
【教員からのメッセージ】 本科目は学生の主体性によって成り立ちます。学習進度は自己の取り組みによって左右されます。							
【オフィスアワー】 事前にメール等で調整してください。							